

# 茶碗

茶の湯にふれる

時代を超えて愛される  
美しい色の青磁



1

たけのしょうおう  
武野紹鷗から尾張徳川家へ  
伝わった大名物



4

みよしながまじ  
三好長慶、豊臣秀吉が  
所持した高麗茶碗



2

現代陶に大きな影響を与えた  
桃山陶の名品



5

千利休が陶工長次郎に  
作らせた茶碗



3

可憐な花が印象的な唐津焼を  
代表する優品



6

「茶の湯」では日本文化が大切に伝えられ、茶席での立ち居振る舞いや作法、そして扱う道具には、その魅力がよく表れているといわれます。茶席には様々な道具が登場しますが、なかでも茶碗はお茶を点てる時や飲むときに実際にふれるものであり、もつとも身近に感じる道具です。このたびの展覧会では、全国各地から一堂に会した優品を通じて、最新の知見を取り入れながら茶碗の歴史と魅力をご紹介します。

1.重要文化財 青磁輪花茶碗 銘 馬蝗絆 東京国立博物館 Image:TNM Image Archives 2.重要文化財 粉引茶碗 三好粉引 三井記念美術館 3.重要文化財 黒樂茶碗 銘 ムキ栗 国(文化庁保管)  
4.重要文化財 瀬戸白天目 徳川美術館 ©徳川美術館イメージアーカイブ/DNPartcom 5.重要文化財 鼠志野茶碗 銘 峯紅葉 五島美術館 6.重要文化財 絵唐津菖蒲文茶碗 田中丸コレクション  
2,4,5,6. 宮野正喜氏撮影

## 関連行事

茶碗の最新研究と魅力を  
研究者が語り合います。

### (1) 茶碗についての座談会

日時 2月24日(月・振替休日) 午後1時30分〜午後3時30分  
登壇者 梶山博史氏(大阪市立東洋陶磁美術館 学芸課長代理)  
徳留大輔氏(出光美術館 学芸課長)  
降矢哲男氏(京都国立博物館 調査・国際連携室長)  
定員 120名(先着順、事前申込必要、聴講無料)

申し込み方法 「岡山県電子申請サービス」「メール」「FAX」の  
いずれかの方法で、必要事項(①氏名・②よみがな・③住所・④  
電話番号・⑤登壇者への質問)をご記入の上、「特別展座談会  
担当係」までお申し込みください。

メールアドレス  
kenhaku@pref.okayama.lg.jp  
FAX  
086-272-1150

※最新情報は当館ホームページ等をご覧ください。

電子申請サービス



はじめての方もお気軽に

### (2) 呈茶席

日時 3月9日(日) 午前10時〜午後4時  
企画 一般社団法人茶道裏千家淡交会岡山支部  
定員 先着順、用意が無くなり次第終了  
(事前申込不要、参加費500円)

### (3) 学芸員による展示解説

日時 2月1日(土)・15日(土)  
3月1日(土)・15日(土)  
各日午後2時〜午後3時  
(事前申込不要、見学無料、入館料は必要)



### (4) 「8Kで文化財 ふれる・まわせる名茶碗」

日時 開催期間中、随時  
企画 独立行政法人国立文化財機構 文化財活用センター  
定員 先着順(事前申込不要、無料、入館料は必要)

※展示室内では、本コンテンツのみ撮影可能。

「8Kで文化財 ふれる・まわせる名茶碗」とは  
かたちも重さも実物の文化財そっくりに制作した茶碗型ハンズオンコントローラーを動かして、8Kモニター上の高精細  
画像を360度好きな角度から鑑賞できる、体験型デジタルコンテンツ。  
※文化庁「令和3年度 地域ゆかりの文化資産地方展開促進事業(先端技術を活用した文化資産コンテンツ制作プロジェクト)」により制作(コンテンツ  
制作:文化財活用センター 制作協力:九州国立博物館・愛知県陶磁美術館)



〒703-8257 岡山市北区後楽園1番5号  
TEL.086-272-1149 (代表) FAX.086-272-1150  
https://www.pref.okayama.jp/site/kenhaku/



■交通のご案内 JR岡山駅 後楽園口(東口)から  
●徒歩(約25分)  
●路面電車(約5分)  
【東山行】「城下」下車 徒歩(約10分)  
●バス(JR岡山駅バスターミナル1番のりば)  
岡電バス【藤原団地行】(約20分)「後楽園前」下車すぐ  
●お車で越しの場合  
山陽道 岡山ICより約20分  
(後楽園駐車場をご利用ください。40分につき100円)

